

# 港北区災害ボランティア連絡会ニュース



事務局 〒222-0032 横浜市港北区大豆戸 13-1 吉田ビル 206 港北区社会福祉協議会  
TEL 045-547-2324 FAX045-531-9561 92号  
FB 港北区災害ボランティア連絡会 2021年4月



\*入会は随時受け付けています。あなたの町の防災度を高めるためにお力を貸してください

## 「在宅避難」あなたはする？ それともできない？

災害が起きれば避難所へ、これは常識でもなければ最善の選択でもありません。やむを得ず避難所しか選択できない事態をなくし、最低限の快適さを追求することは大事です。そのための必要条件を考えました。

新型コロナウイルスの大流行で地域の避難訓練はできなくなりました。そんな中避難所での感染防止対策のため、通路を大きく取る、仕切りをつけるなどの工夫が求められ、避難所定員の大幅減が現実となっています。しかし避難所には定員や優先順位を決める法律や条例はありません。今のままでいくと避難所受付段階での大混乱や避難所難民が発生する恐れがあります。そこで最近では広域避難や知人親戚宅への避難、ホテルへの避難などが呼びかけられるようになりました。関東大震災の際は地方に疎開するための特別列車が仕立てられたそうですが、予想される南海トラフ巨大地震や首都圏直下地震ではどうなるのでしょうか。ホテルへの避難は事前に行政が協定を結んでおかなければなりません。知人や親戚宅は長くなると居づらくなりそうです。

### あなたの家は在宅避難可能ですか？

日本の避難所の劣悪な環境はなかなか改



北伊豆地震の避難所風景、雑魚寝でも間仕切りをつけただけ近年の避難所よりも良かったかも。

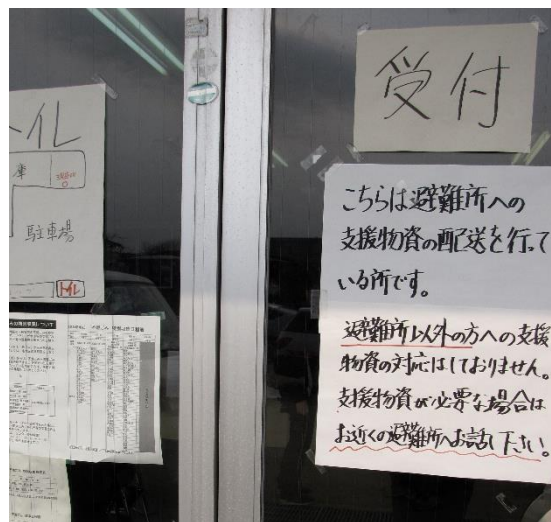
善されません。住民も体育館で雑魚寝が当たり前と

刷り込まれています。ニュースでも何回も触れたイタリアの避難所のように暖かい食事とベッドがすぐ届くと言う避難所になるのはいつになるのでしょうか。それらを考えれば在宅避難を選ぶのも大切だとわかります。

### 在宅避難の条件

- 1、自宅が住み続けられる状態であること
- 2、ある程度の備蓄(食料、調理器具)があること
- 3、行政への連絡をすること

が必要です。しかし実際には半壊の状態でも



避難所入り口に張られたお知らせ(気仙沼・2011)

住んでいる方もいます。また車中泊を選ぶ方もいます。なぜこれらの人々が避難所には行かず、困難な条件でも壊れた自宅や狭い車中泊を選ぶのか、それには訳があるはずで。障害を持つ子供がいて避難所では落ち着けな

ったり、白い目で見られるケースや、ペット同伴を断られるケースなどがあるからです。

在宅避難を続けるためには家屋の耐震度アップ、家具の転倒防止対策、ガラスの飛散防止対策は欠かせないことです。備蓄は前号でも取り上げたローリングストックと災害食メニューの知恵が必要です。

そして欠かせないのが行政への連絡です。これがないと被災者として登録されず、物資や情報の提供が受けられなくなる可能性があるからです。災害時には地域防災拠点がその受付窓口になりますが、この仕組みがどこまで市民に浸透しているのでしょうか。

### 在宅避難者への支援は必須

通常地域防災訓練では拠点への受け入れや過ごし方の訓練が中心でした。その結果住民は地域防災拠点に行けば何とかしてもらえとの気持ち(誤解)も持ってしまったように思えます。最近市も在宅避難のすすめを広報していますが、在宅避難だったために何の情報も入らない、物資をもらいに行ったら断られた、などと言う過去の事例と同じことが起こらないための仕組みをきちんと広めることが基本となります。

そこが確認され、安心感が生まれれば避難所に殺到する事は避けられる可能性が高まります。ただし広域に散らばっている在宅避難者をサポートする体制作りが大変です。自助でなんとかしろと言う冷たい態度であってはなりません。拠点関係者は避難所運営で手一杯でしょう。となればボランティアの出番です。熊本の水害でも在宅避難者への支援が不十分だとの報告が上がっています。そんなことを起こさないためにボランティアの活用を拠点とボランティア団体で考えあうことが日ごろから必要となってきます。

(宇田川)

## 「インクルーシブ防災」 誰をも取り残さない防災を目指して

リスク(危険性)は地震や津波、台風、土砂崩れ、干ばつ、感染症といった脅威(ハザード)と、社会が抱える弱点の相互性作用であると説明されます。ハザードはすべての人を襲いますが、

その結果受ける被害は千差万別です。インクルーシブ防災とは社会的に困難を抱えている人々(障害者、高齢者、外国人、ホームレス、赤ちゃん、病者などなど)を包み込む防災の考え方です。

このDVDはインクルーシブ防災を研究している同志社大学の立木先生が監修しNHK厚生文化事業団が防災啓発のために作成したものです。2枚組DVDは避難編と避難生活編で構成されています。

### 防災リテラシーが必要

避難編では災害前の備えの重要性が「防災リテラシー」との言葉で説明されます。災害の脅威を正しく読み取り、自分の備えをきちんと評価する力が防災リテラシーです。自宅がしっかりしていて避難する必要がないのが一番ですが、それでも困難を抱えている人々は、日頃受けていた社会的サービスを同じように受けるのは極めて難しくなります。そのために必要になるのが備えです。

### 避難行動要支援者名簿と個別計画(災害時ケアプラン)

災害時要支援者名簿の作成が自治体に義務付けられていながらなかなか進まない現実





があります。そこには支援する側、される側双方に災害時どんな具合に困る



かがはっきり見えていないと言う現実があるからでしょう。そんな時に役に立つ教材として国立リハビリテーションセンターの硯川研究室が開発した「安心防災帳」が紹介されています。

### \* 「自分で作る安心防災帳」で検索 他人任せにしない避難生活

DVD の第二部では避難生活をする場所を検討しています。「福祉避難所」と言葉だけは聞いているが、どこの施設がそれなのか知らないとどんな手続きが必要か、どんな備えがあるのか不安だらけです。そんな不安を克服するための全国の取り組みや、熊本地震で福祉避難所を大学内に開設した熊本学園大学の事例などが紹介されています。

避難所運営を拠点役員任せにすると言う事は、自分の生活を他人任せにすると言うことです。インクルーシブ防災を進めれば全ての人がある助かる防災体制を作ることにつながります。この DVD は多くの人々が勉強する素材として作られました。今後定例会でも視聴したいと思います。ご希望の方は宇田川までご連絡ください。

### 4月定例会は振り返り

コロナのためみんなで集まって活動を作ることが十分できなかった年でした。だからこそ知恵を出し合い、新しい形の連絡会活動を作り上げなければなりません。振り返りが一番大切です。

## 10年を迎えた東日本大震災

東日本大震災から10年となった先月11日は全国各地で震災の犠牲者への追悼が行われました。横浜では横浜港で祈りの汽笛が響きました。また2時46分が近づくと横浜港周辺の施設では黙祷を呼びかける館内放送が流れ、市民が参加する姿が見られました。

**7隻一斉に汽笛**  
横浜港 氷川丸や日本丸

東日本大震災から10年を迎えた11日、地震発生時刻の午後2時46分に横浜港の氷川丸や帆船日本丸などが一斉に汽笛を鳴らし、犠牲者を追悼した。周辺施設では汽笛に合わせた黙とうを呼び掛け、多くの人が静かに手を合わせた。被災地支援に取り組むボランティア団体「横浜災害ボランティアネットワーク」は汽笛に合わせた黙とうを呼び掛け、多くの人が静かに手を合わせた。被災地支援に取り組むボランティア団体「横浜災害ボランティアネットワーク」は汽笛に合わせた黙とうを呼び掛け、多くの人が静かに手を合わせた。

汽笛に合わせて、氷川丸の前で黙とうする横浜災害ボランティアネットワーク会議のメンバーら  
=横浜市中区

神奈川新聞より

会議」の実行委員会が企画。追悼と防災意識の向上が狙いで、5年前に続き2度目の取り組み。2隻をはじめ、ロイヤルウイング、マリオンルージュ、マリオンシャトル、シーバス2隻の計7隻が汽笛を鳴らした。呼び掛け人の一人で横浜災害ボランティアネットワーク連絡会代表の河西英彦さん(80)は「被災地に思いをはせ、防災意識を高めるきっかけになれば」と話していた。(佐野 克之)

2万人を超える犠牲者が発生した東日本大震災ですが、この震災の特徴は行方不明者が非常に多い(2520名/2021年3.5現在)のと合わせ、災害関連死が大変に多く発生しているだけでなく、現在進行形であることです。(表参照、河北新報社調べ2021年3月現在)

	人数	65歳以上
岩手	470名	404名
宮城	929名	809名
福島	2,318名	2,079名
全国総計	3,763名	3,335名

中でも福島県が圧倒的に多いのはこの災害関連死が原発関連死と言われる所以でしょう。

10年目の3月11日が終わり、1つの区切りのような言い方もされますが、突然大きな家族を失った人々の気持ちに10年の節目で簡単に区切りがつくものではないでしょう。この日はテレビをつけるのが辛いと言う方が大勢いることを忘れずに、今後の地域防災活動の中で3月11日を伝えていきたいと思えます。

(宇田川)

## 被災作業所商品の取り扱い 再開します

連絡会では被災地の作業所製品の販売をして応援してきましたが、去年はすべてのイベントがなくなり、その機会が作れませんでした。普段でも販売先の拡大に苦勞している作業所ですが、コロナ禍でいっそうの苦勞を強いられています。そこで今年は定例会に合わせて商品を用意し、会員の皆さんで購入し作業所を応援して行くこととします。

再開第一弾は石巻の「くじらのしっぽ」のワカメです。牡鹿半島の最先端鮎川にある半島唯一の作業所です。鮎川浜は昔から鯨漁が盛んだったのでこの名前にしたのでしょう。美味しいワカメを食べて応援です。

(宇田川)



### 災害時役立つ商品 1

#### 「水のいないシャンプー」

今回白内障の手術をし(歳ですね)一週間洗髪禁止となりました。少なくなったとは言えまだ毛髪の残る頭、洗えないのは辛いなあと思、そこで半信半疑で使ったのがこれです。以

前骨折で入院した際の山口さんもその便利さを褒めていましたが、私も今回使って大変助かりました。

この原稿を書くにあたりネットで調べてみると水のいないシャンプーはすごい量の製品が並んでいてびっくりします。その中で近くのドラッグストアに並んでいたこの製品を選びましたが、資生堂のこの商品はサッパリ感が売りのようで、毛髪量の多い女性や皮脂の多い人にはちょっと不向きかもしれません。また普段使いするには値段が高いし、シャンプーするのが1番気持ち良いに決まっています。ただ災害時には水を大量に使うシャンプーなんてできっこありませんから備蓄必需品と言えるでしょう。3年は変質しないそうですから、3年ローテーションの備蓄計画品でしょうか。

(宇田川)



#### 編集後記

☆仕方がないとはいえ、zoomなどネットでの会議が盛んですが疲れます。登校ができない大学生はどう勉強しているのか心配です。

(宇田川)

☆自宅避難のとき、なにで情報を取りますか？

TV？ラジオ？ネット？スマホ？そして電源取れますか？なんて考えてます。

(中島)

☆1年前に開設のページですが、日本心理学会の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連ページを見てください。

(室伏)

☆3,11の後に備蓄にと、「水のいないシャンプー」を探したことを思い出しました。そのときは品切れで、すぐは買えませんでした。

(付岡)

☆防災の備えの大切さを子どものころから学べたら、在宅避難の考え方も広がるかな。子どもたちの未来を守りたいです。

(一政)